
はたらけ

月島 真昼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
はたらけ

【Nコード】
N8934K

【作者名】
月島 真昼

【あらすじ】
例えば殺される可能性をゼロにすることはできない

「例えば殺される可能性をゼロにすることはできない。

いま僕の後ろを農業用のスコップを持って台車を押しているおじさんが歩いているがあのおじさんが不意に僕にスコップを投げつけなくなるかもしれない。風切り音を感じた僕は咄嗟に振り返るが到底そんな一瞬で避けることも出来ずに側頭部に土のついた茶色の鉄が突き刺さって赤く染まる。

もしかしたら単純な赤ではなく脳髓が噴き出して多少ピンク色になるかも知れない。

もちろんそんな可能性は限り無く低い。

ゼロではない。

ゼロにしようと思えば自分の住処を一步も出ないことが必要になるだろう。

しかし人間社会に置いてそんなことは不可能だ。お金を稼がなければ飢えに殺される。その問題をクリアできたとしても人間の構造はあまりにも閉塞された空間でたった1人で生きることではできないようだ。

意識に殺される。つまり自殺だ。最近では電脳世界に置いての繋がりでなんとか孤独を繋ぎ止めている人間もいるようだが、僕は古い考えの人間だからそれは破壊しようと思う。

次に自殺について考えよう。

僕は自殺という物はある得ないと思っている。自殺というからには加害者は自分であり被害者は自分なわけだ。

しかし根本的な生物の意識構造、つまり本能に置いて生物は死にたいようにできていないそうだ。加害者は必ず他にいる。

会社の上司、恋人、親、子供、友達、駅で隣になったおじさん、仕事、勉強、学校、過去、現在、未来。

理由は人によって様々だろうが加害者の大半はざっとこんなところだと思う。

自殺とは手をくたさない殺人だ。わかるかい？

手をくたさないんだ。

刃を差し込んだときに手に残る感触も血も、

突き落としたさいにあがる恐怖の表情も悲鳴も、

毒物を与えたときの荒い呼吸や痩せ劣る様も、

加害者は何も感じずに殺す。こんな理不尽があるかい？」

「つまりあなたは何が言いたいの？」

電話越しの引きこもりの恋人に僕は言った。

「働け。どうせ可能性はゼロにできないんだ」

（後書き）

もっとうまく書けた気がする……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8934k/>

はたらけ

2010年10月21日12時26分発行